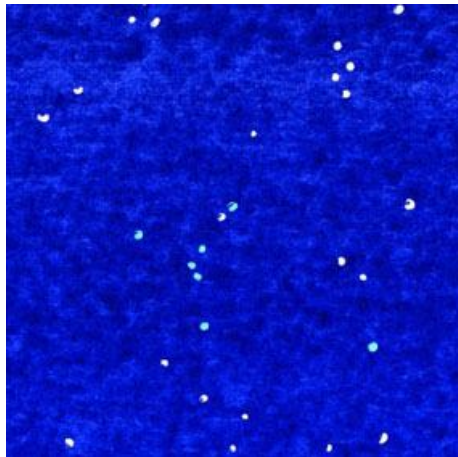


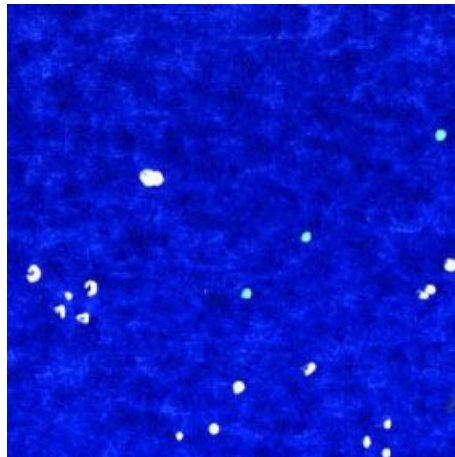
「カノープス」は「シリウス」に次いで全天で二番目に明るい恒星で 南半球ではよく見える星です しかし日本では 真冬の南の地平線にわずかに見えるだけで めったに観望できません 群馬県では南中高度がわずか1° 前後なので 南側の地平線近くに全く障害物のない空の暗い場所で見えませんが 私は草津町と嬭恋村の境界付近の県道で見える場所を発見しました 元日の午後11時50分 浅間山の左側に真っ赤なカノープスが稜線すれすれに見えました



これが完成した絵です



1、まずは背景の夜空を 濃いブルーで一様に塗っておきます この作業には幅の広い「スポンジ筆」を使います



2、シリウスのような明るい星は大きな点描 暗い星は小さな点描で描きます



3、星を描くのは このような不透明の白ペンを使います ペン型の修正液も役に立ちます



4、主題の「カノープス」は オレンジ色の不透明ペンを使いました 実際にこのような色に見えます



5、稜線上の山々 一番左の峰には 山頂に雲がかかっています



6、もう一つの主題の「浅間山」は 中腹から上は雪が積もっています ここだけは少し明るく残します